

No. 66号

発行：盲人情報文化センター-1994年9月15日

「音声訳」を考える（第17回）

## 録音の順序と各ポイント その4



### 10. 録音図書凡例

①音声訳にあたっての処理、予め読者に知っておいて欲しいことを録音する。

②断る内容は、

1. 構成上の処理に関すること。

→「図・表は別巻に録音してあります。」

→「目次の項目の後に、該当するテープ巻数を紹介してあります。」

○トーンインデックスを使用する場合の断り方。

→「トーンインデックスを使用しています。キュー・レビューの際に信号音が聞こえます。項目を探す際にご活用下さい。」

2. 音声訳上の処理に関すること。

→「本文中の引用文は、カギカッコ、トジと言い添えています。」

→「写真の説明は省略しています。」

3. その他。

原本の構成に関してあらかじめ知らせておいた方がよいものなど

\* 録音図書凡例は、その原本がどんなものか、読者によくわからない内に、断りをいれることとなりますので、録音図書凡例の入れ方は慎重にします。音声訳者は、事前に原本の作り方を知っている為、読者も事前に原本の構成などを知っていると錯覚して説明することがあります。また、その原本の最初に断ることから、あまり些細なことを断ると、かえって誤解を受けることがあります。数十名の人物の内、二、三人の名前の調査が付かないため

に、「調査の付かない人名は推定読みをしています。」と断ると、どれが推定読みかわかりませんので、かなり推定読みをしていると誤解されそうです。

また、2、3枚の写真について省略することを凡例でわざわざ断ると、たくさんの写真を省略した様にもとれます。断る場合、凡例で断る方が良いのか、その場で断る方が良いのかなども判断する必要があります。

**\*構成処理とは：** テープ図書の不便さを、少しでも利用者が使い勝手の良いように工夫して製作することをさします。構成処理には、全体の作り方に関するもの（構成上の処理）と、読み方に関するもの（音声訳上の処理）とに分けられます。構成上の処理は、原本をそのままテープ化しても利用者は検索できず使い勝手が悪いような時、できるだけこれをカバーする為にテープを分けるなど工夫し、検索を少しでもしやすくします。この場合も、利用方法などのコメントを利用者にわかりやすくします。

例えば、医学関係の本などで項目単位ですぐ聞きたいような時には、目次で該当巻数などをコメントしたり、項目単位に録音したりします。そうすることで検索しにくいといったテープの弱点を少しでもカバーすることができます。また、項目を捜し易いようにトーンインデックスを編集で使用したりします。また、本文中に図表を読み込むと長くなり話しが途切れるような時に例えば図・表だけ別テープ化にして聞きたい人が別テープを聞けるようにすることもあります。

構成上の処理は、職員と相談して決めますが、特に、入門書的なものやガイドブックなどはどんな使い方をするかも考えながら決めますので、音声訳者は予め原本の内容に目を通し、検討しておく必要があります。

音声訳上の処理とは、本文を読み進めていく上で予め断っておくべき事項をさします。外国語の処理、図表や写真の処理、引用文の処理、注の処理、などです。音声訳上の処理は、録音図書凡例で断わっておくべきものとそうでないものに分かれるでしょう。

例えば、引用文の処理で、本文で「以下引用」「引用終わり」と処理する時などは、断らなくてもわかりますが、「引用」の代わりに「カギカッコ・・トジ」などと処理する時は、断りが必要でしょう。但し、この場合、本文に「引用以外」の「カギカッコ」がないことを確認しておきましょう。

つづく

## 《《《《《 音声訳と処理 》》》》》

「音声訳」と「処理」との関係は車の両輪で、基本的には同じ事をさすと言えます。

「音声訳」とは「墨字原本を視覚障害者が聞いてわかるように音声に変換すること」ですが、この「音声訳」を「処理」に変えて、「処理」とは「墨字原本を視覚障害者が聞いてわかるように音声に変換する際の方法」といえるからです。音声訳者が「処理」を行うには、

- ①音声表現技術（テクニック）
- ②原本の内容を正しく伝える能力・技術
- ③聞く人にわかりやすく読むセンス

といったものが要求されます。①については、「会話は会話らしく読む」とか、「少しゆっくり読む（早く読む）」とか、「高低の差をつける」とか言った音声表現のテクニックのことです。しかし、少し内容が込み入った文章になると、このテクニックだけでは伝わりません。

そこで次は、②の正しく伝える「処理」が必要になります。これは、誤読をしないという事は当然の事とした上で、さらに「同音異義語」や「図・表」「記号など」の「処理」などにあたります。また、内容を正しく伝えるには、何が書いてあるか、なにを問題にしているかを理解する読解力や関係分野の知識も求められます。何を問題にしているのかがわからないと「どう処理して良いか」はわかりません。

しかし、「処理」はそれだけではありません。③のセンスとは音声表現の限界を認識して、複雑な墨字表記をどこまで、音声にするかといったバランスも考えなくてはなりません。

これは、「墨字の表記をすべて読み込む事が、より正確に伝えるという仕事ではない」ということです。音声訳者は、表現されている形式をできる限り音声化したいと考えるわけですが、何もかも表現しようとする、今度は逆に音声で聞く人には内容がわかりにくいものになります。つまり、この音声表現の限界を認識して、どこまで音声訳するか、そのバランスを常に考えなくてはなりません。

墨字表記通り正確に読まれていても、何が書いてあるかわからない音声訳では、何にもなりません。③のバランス感覚（センス）は音声訳にあたっては非常に大切です。点訳においても同じような理由から最終的には「センス」

が要求されていますが、この「センス」もここで問題にしている音声訳の「センス」と同じことだと思えます。つまり点訳においても、墨字表現と点字表現の「限界」を認識し、より指で読みやすい点訳処理を行う必要があるからです。その点で、点訳者と音訳者は一部共通した「処理」があり、共同して研究するテーマもあります。

「センス」は、さまざまな資料を音声訳し、経験して行く中で磨かれていくものです。その点で様々の資料に挑戦することが大切です。将棋の駒の進め方を覚えれば将棋はできますが、それだけでは強くなりません。何度も強い人と対戦することで、将棋の「大局観」を養い将棋が強くなると言われていますが、この「大局観」も、実は音声訳の世界での「センス」と共通するものだと言えるでしょう。この「センス」が磨かれてこそ、初めて「音声訳」の仕事の本格的にはじめることができると言えるでしょう。

### 正誤表から・・・(40)

語句	誤読	正しい読み	語句	誤読	正しい読み
血肉	チニク	ケツニク	荘厳	ソウゲン	ソウゴシ
行装	ギョウソウ	コウソウ	風聞	フウモン	フウブン
御利益	ゴリエキ	ゴリヤク	隧道	タイドウ	スイドウ
還俗	カンゾク	ゲンゾク	熾烈	シキレツ	シレツ

### 二通りの読みがあって意味が異なるもの・・・(27)

侍	サムライ ジ	武士 はべること	大空	オゾラ ダイウカ	広大な空 (仏)十八空の一
細水	ホミズ サミズ	小川、細く小さい 流れ 少しの水	神戸	カハ コハ	神社=所属シテノ経 済ヲ支ク民
工夫	コウ クワ	道路・土木トノ工事 ニ従事スル労働者	素子	ソ ソコ	element 卑賤なもの

## 【練習問題1】

次の詩は福岡市在住の若い詩人の作品です。古賀博文さんの詩集「トモ、ねんね」（気圧配置編集室刊・1992年）の中の「タダ」を紹介させていただきます。

生後11か月目に入って急にトモの発声の幅がひろがりました

吠き声ともちがう

話し声とも違う

辞書はこれを「喃語（なんご）」と教えてくれます

「喃語」嬰兒の、まだ言葉にならない声

トモはハイハイができるようになりました

トモはつかまり立ちができるようになりました

歩行器を買ってやるとトモは

さいしょ、エビのように両足で床を蹴って

一心にバックするばかりでした

それが一時間もたつとカニのように横歩きをはじめ

半日後にはちゃんと正面へ直進できるようになりました

水中から水上へ 水際から内陸へ

半日のなかに生命の進化をみたなどとは

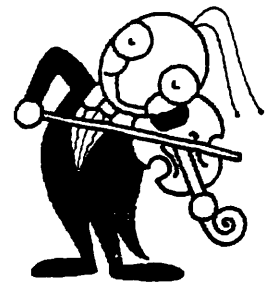
オーバーなかいかぶり

親バカだって笑ってやってください

泣き声から吠き声から喃語から言葉へ

「タダ」というのもフランス語の喃語

・・・以下、省略



森崎和江著「いのちを産む」より

- ポイント
1. 同音異義語の処理
  2. どのような説明をするか
  3. どこで入れるかなどを検討しよう。

## 【練習問題2】

・・・第二版と第二版補訂版の総ページは変わらず、最終行の位置も一致している。けれども広告に謳われたことばは確かに第二版に割り込む形ではいっており、

そのあたりを見比べると前後の二ページないし、三ページにおいて最初と最後が同一、その途中で調整していることがわかる。と言っても第二版にあった語を削ったのではなく、前の行の空白部分に追い込むことで行を詰めているようだ。

しん-ば【神馬】→じんめ

しん-ば【新馬】（競馬用語）初めて公認競馬に参加する三歳馬

しん-ば【神馬】→じんめ 「る三歳馬。

しん-ば【新馬】（競馬用語）初めて公認競馬に参加す

このようにして一行また一行と余白を生み出し、このページには「ジンバブウェ」が四行割り込むことが可能になった。

『最新日本語読本』新潮社編集部編

ポイント 文章としての処理を考えず、引用された図と考える。

### 【練習問題3】

・・・小説『金色夜叉』で有名な尾崎紅葉が、新潟へ療養に行く旅の途中でここに滞在したという記録（1899年）のある、なかなか歴史をもった旅館である。紅葉が、その旅行記『煙霞療養』を、読売新聞に連載し、赤倉温泉や香嶽楼の模様をかなりくわしく紹介したので、それまであまり知られていなかったこの温泉が、一躍、全国的に注目されるようになったという。

紅葉の文章を見ると。「およそ己の知る限りに、ここほど山水の勝を占めた温泉場はないのであるが、またこれほど寒酸の極みにおちいった町並みを見たことがない」（かなづかいなど現代風にあらためさせていただいた）とあるから当時は寒村の温泉場だったのだろう。

香嶽楼という名も、われわれがこれから登ろうという妙高山にちなんだものである。妙高山はもとは「越しの中山」とよばれ、それが「名香山」と書かれるようになり、さらに「みようこう」と読みかえられ、字も今のように「妙高」の字が当てられるようになったという。・・・

『回想の山旅』不破哲三著

ポイント 「ミョウコウ」の字の説明

きれいに録音する為に (第7回)

## 声をクリアーに録音する その3



音声をクリアーに録音するためにはマイクを上手に使うことです。どんなにいいマイクを購入しても使い方を間違えるとクリアーに録音できません。マイクの使い方のポイントは、

- ①口とマイクとの距離を一定に保つこと
- ②マイクの角度を変えないこと
- ③ボリュームは、ピークレベルメーターが、常時0のレベルに届いていること

などが大切です。これらの点を頭に入れながら、実際に録音した音を聞きながら最も、自分に適した距離や角度などを決めます。初心者がよくミスする点は、マイクの距離をあまりにも近づけ過ぎて、口の中の音や息づかいなどが耳についたり、また、近すぎると読み手が少し動いただけで、音量や音質が大きく変化する為に、聞きづらい録音になったりすることです。また、逆にマイクが離れすぎてボリュームが小さい場合も多いようです。

マイクの距離は個人差がありますので、実際に録音して判断していきましょう。例えば、①30センチ、25センチ、20センチ、15センチとマイクの距離もコメントしながらそれぞれ数分録音します。この時、距離が変わる度に、ボリュームを調整します。ポーズ状態で、ピークレベルメーターの表示が常時0に届く程度に調整してから録音します。必ず、その都度録音ボリュームを調整しないと正しく比較できませんので注意してください。

20～30センチ前後で録音しても口の中の音「プチッ」という音などが入っている場合は、マイクの角度を変えます。口の中の音は、距離を近づけるとますます目立ってきます。距離は20センチ以上は離すようにして、マイクの角度を変化させ、マイクの先が直接口元に向かないようにします。この事で感度を落とすことができますので、少し目立たなくすることができます。しかし、口の中の音をなくすことはできませんので、できるだけ口の音については注意し、出来れば発生しないように努力する必要があります。

## リクエスト図書一覧

以下のリストは、読者から音声訳の依頼を受けている本です。  
グループの方で引き受けて頂ける方がありましたらご連絡ください。  
録音技術のケアはさせていただきます。

- 『日月神示』中矢伸一著 <歴史>  
『日本古代史の秘密』中矢伸一著 <歴史>  
『COOK BOOK』シャープ <電子調理器説明書>  
『灯』4月～12月 <雑誌>



引き受けて頂いた原本	グループ
『1928年。御大典の裏側で』／田中伸尚著： 『鍼灸医学における実践から理論へパート2』 『灯』3月 松本正高編：<詩歌> 『理想国家日本の条件』大川隆法著：<宗教> 『ふざけんな!まだ死ぬずにいる日本のために』 『新・太陽の法 エル・カンターレへの道』	えくてもあ グループ灯台 テンプライブラリーにしのみや えくてもあ ロバータ えくてもあ

## 勉強会のご案内

### 音声訳研修の会

日時：9月27日（火） 1時半より3時半  
場所：盲人情報文化センター9階ホール  
内容：さまざまな文章の音訳研修。



### お知らせ

東洋医学研究会は、9月の勉強会で一応、終了し、10月からは点字毎日主催の  
専門音訳講習会「東洋医学コース」（全10回）として、スタートとします。